

秩父郡市1市4町合同

どこの集団接種会場・個別接種医療機関でも受けられます

## 新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

秩父市長 久喜 邦康

新型コロナウイルスワクチンは、原則として住民登録している市町村の接種場所（集団接種会場または個別接種医療機関）で接種することとなっていますが、秩父郡市1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）と秩父郡市医師会では、1月14日に「感染拡大に向けた取り組みに関する覚書」を締結し、秩父郡市のどこの接種場所でもワクチン接種が受けられる体制づくりを行いました。

集団接種会場・個別接種医療機関および日程については、現在調整中ですので、決まり次第改めてお知らせします。なお、ご相談やご希望の接種場所・日程を予約いただく秩父郡市コールセンターは、3月25日開設予定になっております。

ワクチンの供給も遅れています。準備ができるまで、もうしばらくお待ちください。



65歳以上の高齢者には3月下旬に接種券を郵送予定です。

秩父郡市コールセンター ☎050-2018-2795

(3月25日開設予定)

### ◆ワクチン接種の目的

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図り、重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的として行います。

### ◆接種対象者、接種の順位

- ①医療従事者等
- ②高齢者（令和3年度に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）
- ③高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
- ④それ以外の16歳以上の方（16歳未満の方は対象になっておりません）

接種費用は無料  
(全額公費)

優先接種である医療従事者等の接種後、65歳以上の高齢者の方から接種が始まります。

### ◆接種にあたっての注意

○ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要であり、強制するものではありません。

下記に当てはまる方は基本的には接種可能ですが、事前にかかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください。

・何らかの病気で治療中の方 ・新型コロナウイルスに感染したことがある方 ・授乳中の方

○集団接種会場での医師の予診は、当日の体調を診るもので、治療中の病気などの相談には応じられません。

### ◆ワクチンは2回接種の予定です

○ワクチンの効果を十分に得るために、同じワクチンを通常3週間空けて2回（予定）受ける必要があります。

○接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方が良いこともあります。

接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、かかりつけ医等にご相談ください。

★ 接種券とは別で、後日予診票を郵送いたします。予約方法、接種当日の注意事項等、詳しくは接種券、または予診票と一緒にお届けするお知らせをご覧ください。

医療従事者・65歳以上の高齢者の接種に予定されています

## 新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製コミナティ）について

特徴	○メッセンジャーRNA ワクチンという種類のワクチンです。 ○通常、三角筋（上腕の筋肉）に、筋肉内注射という方法で接種します。								
有効性	○新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症の予防 ※ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人数が少ないという事がわかっています。（発症予防効果は95%と報告されています。）								
安全性	○次のような症状が現れることがあります。 <table border="1"><thead><tr><th>発現割合</th><th>症状</th></tr></thead><tbody><tr><td>50%以上</td><td>接種部位の痛み、疲労、頭痛</td></tr><tr><td>10~50%</td><td>筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ</td></tr><tr><td>1~10%</td><td>吐き気、おう吐</td></tr></tbody></table>	発現割合	症状	50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	1~10%	吐き気、おう吐
	発現割合	症状							
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛								
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ								
1~10%	吐き気、おう吐								
	○接種後すぐに現れる可能性のある症状について <b>アナフィラキシー</b> ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛やおう吐等の消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後、もし起こっても、すぐに対応可能な医薬品などの準備をしています。 <b>血管迷走神経反射</b> ・ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ちくらみや血の気が引いて気を失う事があります。 ・誰でも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になり休むと自然に回復します。倒れてけがをしないように、座って様子を見てください。 ○集団接種会場では、接種後15~30分間、椅子に座って様子を見ていただく待機所を設けます。								

コミナティ添付文書より改編

- ・インフルエンザの予防接種等と比べ、痛みが強いと感じる方もいます。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱等、1回目より2回目に発現割合が高くなる症状もあります。

○予防接種では、極めてまれですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。健康被害を完全になくすのは難しいことから、救済制度が設けられています。

◆ワクチンを受けた後も、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けない方も、共に社会生活を営む事になります。

このため、感染予防対策の継続をお願いします。具体的には、密集・密接・密閉の回避、マスク着用、石けんによる手洗いやアルコール消毒の励行などです。

出典：厚生労働省ホームページより

ワクチンの詳しい情報については厚生労働省のコールセンターやホームページをご利用ください。

＜厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター＞

☎ 0120-761770（フリーダイヤル）受付時間：9時00分～21時00分

お問合せ先 秩父市保健センター ☎ 22-0648



# 新型コロナワクチン予防接種についての説明書

ファイザー社製

## 新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

## ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約95%と報告されています。）

販売名	コミナティ <sup>®</sup> 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回（通常、3週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1回0.3 mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。（接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。）
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

## 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1） 明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2） アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

## 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

### 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

### 副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

### 予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

### 新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

### 今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種によりmRNAがヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNAを基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA）
添加物	◇ ALC-0315：[（4-ヒドロキシブチル）アザンジル]ビス（ヘキサ-6,1-ジイル）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル）
	◇ ALC-0159：2- [（ポリエチレングリコール）-2000] -N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
	◇ リン酸水素ナトリウム二水和物
	◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

# 予約前にお読みください **重要**

## 予約時の注意事項

・これまでにアナフィラキシー(重度のアレルギー反応)を起こしたことがある方は、コールセンターで、秩父市立病院、秩父病院、小鹿野中央病院、皆野病院のいずれかに予約をしてください。

その後、予約した病院へもご連絡ください。

なお当日の予診で接種できない場合がありますのでご了承ください。

・接種部位の痛み、頭痛、発熱、関節痛、疲労感などの副反応が頻繁に起こります。通常は2日以内におさまりますが、仕事の調整をしてから予約してください。

## 接種が不安な方へ

・ワクチン接種が不安な方、接種を迷っている方は、かかりつけ医に相談しておきましょう。

・帰宅後の体調不良には、接種医療機関、かかりつけ医、休日診療所、休日当番医療機関、救急病院等が対応しますので、ご安心ください。

・秩父郡市医師会のホームページに、地元医師会員等のワクチン接種後アンケート、副反応情報、注意事項、写真、動画などがわかりやすく掲載されています。是非、接種前にご覧ください。

秩父郡市医師会ホームページ



## ちちぶワクチン推進会議

秩父市 横瀬町 皆野町 長瀬町 小鹿野町 秩父郡市医師会